

2016年6月22日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

## **日興アセット、議決権行使などスチュワードシップ活動の透明性とガバナンスを強化**

社外の中立・公平な視点を導入し、助言・監督組織を新設

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、企業とのエンゲージメントや議決権行使などのスチュワードシップ活動における透明性向上とガバナンス強化を図るため、社外委員が過半数を占める「スチュワードシップ&議決権政策監督委員会(以下、「監督委員会」)」を、本日付で新たに設置いたしましたので、お知らせいたします。

監督委員会の役割は、日興アセットのスチュワードシップ活動と議決権行使活動に、第三者の目を持つ社外委員を多数とする委員会の立場で監督を行うことにあります。具体的には、現在議決権行使を行っている「スチュワードシップ&議決権政策委員会(以下、「政策委員会」)」の名称を「スチュワードシップ&議決権行使委員会(以下、「行使委員会」)」に改め、その役割を明確にし、監督委員会がこれを監督する仕組みを導入するものです。

日興アセットは、2014年5月に日本の上場株式に対する投資について「責任ある機関投資家の諸原則」《日本版スチュワードシップ・コード》を受け入れることを表明、同6月には「スチュワードシップ方針」を公表し、これに基づいてスチュワードシップ活動を適切に遂行しています。こうした活動を監理するための社内組織として従来より政策委員会を設置しており、「議決権等行使指図ガイドライン」を定めて、受託者責任を全うすべく議決権行使を実施しています。

このたび日興アセットは、行使委員会に対してより高い透明性とガバナンスの強化を求める観点から、弊社と利害関係を有さない過半数の社外委員で構成される監督委員会を新たに設置し、行使委員会が監督委員会から、中立かつ公平な立場からの確かな知見と幅広い見識に基づく助言・監督を受けることで、管理態勢の強化を図ってまいります。

日興アセットの使命は、お客様・受益者の皆様に対する受託者責任を果たすことにあります。日興アセットは、このたびのガバナンス強化を含め、引き続き日本版スチュワードシップ・コードの趣旨に則した対応を着実に進めてまいります。投資先企業の状況の把握、投資先企業とのエンゲージメント、また議決権行使などを通じて、お客様・受益者の皆様からお預かりした資金の中長期的な投資リターン拡大を目指してまいります。

### ご参考

日興アセットマネジメントのスチュワードシップ方針 <http://www.nikkoam.com/about/stewardshipcode/policy>  
日興アセットマネジメントの議決権行使の考え方 <http://www.nikkoam.com/about/vote>

以上

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表するグローバルな運用会社であり、世界の投資家の皆様に一流の投資ソリューションを提供しています。世界 30 以上の国から集まる豊富な人材を世界 11 カ国に擁し、200 名を超える運用プロフェッショナルが約 17.4 兆円\*\*の資産を運用しています。55 年を超える実践を経た投資哲学をアジアから世界へ広げていきます。

(上記データはすべて 2016 年 3 月末現在)

\* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

\*\* 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2016 年 3 月末現在のデータ

### 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会